



“笑顔”と“共生のまちづくり”につながる取り組みをレポート

共生のまちづくり

みんなが気軽に集まり、
帰ってこられる場所に
ゲストハウス繁盛校は、毎月第

「地域の消滅を止めたい！」
という気持ちから始まった
活動
宍粟市一宮町繁盛地区にある「ゲ
ストハウス繁盛校」は、平成28年
に閉校した旧繁盛小学校の校舎を
リノベーションして令和3年に開
設されました。家族連れの宿泊や
学生の合宿に利用されるなど地域
外からの利用者が多く訪れるだけ
でなく、地元の人が集う場所として、
地域に活気をもたらしています。
ここを運営するNPO法人
more 繁盛は、小学校の閉校
をきっかけに、人がどんどん離れ、
高齢化が進むこの地域に「少しで
も多くの人に残ってもらいたい」
との気持ちから、8つの地区の自
治会長が中心となり結成されたま
ちづくり協議会が母体となって設
立されました。

More 繁盛の活動が生み出
すのは、地区内外から老若男女問
ました。

また、コロナ禍で開催が止まっ
ていた盆踊り大会の復活を望む住
民の声を受け、話し合いを経て全
地区合同の「繁盛夏祭り」として
実現させました。祭りの当日は約
500人の参加者がゲストハウス
繁盛校に集まりました。「昔、自
分が描いた提灯が飾られてた」と
と卒業生が当時を懐かしんだり、
地元を離れた人が里帰りして同級
生と久しぶりの再会を果たすなど、
参加者から多くの喜ぶ声が聞かれ
ました。

閉校した小学校をリノベーションした「ゲスト
ハウス繁盛校」。宿泊施設であると同時にコミュ
ニティカフェやお祭りなども開催し、地域の
さまざまな人が集まる場所になっています。



廃校を生かした 地域のまちづくり



2・3・4日曜日には「More
カフェ」というコミュニティカフェ
として、地元の高齢者でにぎわ
います。食事もさることながら、何
よりおしゃべりが参加者の楽しみ
です。また、毎年10月には「繁盛祭
」を開催し、ハンドメイド雑貨の販
売や藍染めのワークショップ、地
元の音楽グループによる吹奏楽コ
ンサートなどで盛り上がります。

わず多くの方が集まる交流の場
です。集う人たちの思い出に残る場
となるよう、モットーである「お
もしろき繁盛をもっとおもしろ
く！」を合言葉に、今後も地元で
の話し合いを大切にしながら、よ
り良い地域づくりを目指します。



おいしい料理とおしゃべりを楽しみに、
地域の人たちが集うカフェ



復活を遂げた繁盛夏祭り

取材を終えて

「学校に泊まる」という非日常を体験できるの
も魅力の一つであり、取材中には、開放している
体育館からは元気な子どもたちの笑い声が聞こえ
てきました。学校の面影を残して落ち着いて過ご
せる雰囲気と、地元の人たちの優しさに魅了され
て多くの人が集まっているのだと感じました。

NPO法人 more 繁盛

場 所 宍粟市一宮町上岸田576

団体代表者：米田 正富氏

ホームページはこちら→

